

な
か
っ
た

こ
と
に
は

で
き
な
い



黒川の女たち

監督 松原文枝 語り 大竹しのぶ

撮影：神谷潤 金森之雅 編集：東樹大介 プロデューサー：江口英明

製作：テレビ朝日 配給：太秦 2025|日本|99分|ドキュメンタリー (R) (映倫)

文化庁文化芸術振興費補助金(日本映画製作支援事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

kurokawa-onnatachi.jp

11/24(祝)

上映会開催

場所 黒川ふれあいセンター
大研修室

1945年 関東軍敗走の満洲で待ちうけた、黒川開拓団の壮絶な運命——
戦争と性暴力の事実、いま知るべきことがここに在る。



主催：旧満州黒川開拓団、黒川分村遺族会

9:30～11:15 上映

【午前の部】11:15～松原文枝監督
ほかによる挨拶

13:30～15:15 上映

【午後の部】15:15～松原文枝監督
ほかによる挨拶

【ご鑑賞対象】 黒川地区のみなさま

【お申込期間】 11月10日(月)～20日(木)

午前・午後ともに先着90名まで。定員になり次第受付を終了いたします。
申し込みの際に住所・氏名をお伝えください。

※駐車場に限りがあるため、お車でのお越しの方は、なるべく乗り合わせにてお越しください※

申込先・問い合わせ

白川町黒川ふれあいセンター

TEL：0574-77-1001

受付時間：平日 9:00～17:00

※土日祝日休み※

次に生まれるその時は、
平和の国に産まれたい

〔接待〕を強いられた女性の証言

高齢になった生存者の女性たちが、
その身に背負ったトラウマと
ステイグマから解放されるプロセスを、
このドキュメンタリーは描いた。

「黒川」はそれを象徴する名前となった。
「反省しない」日本は、黒川に学べるだろうか？

上野千鶴子

伝えなくてはいけない。

自分たちの孫やひ孫が幸せであり続けるために。
過去をきちんと知り、
未来を考えることをしなくてはいけないと思います。

大竹しのぶ



記憶が歴史になる前に、未来へ遺す。 戦禍を生きた人びとの証言。

80年前の戦時下、国策のもと実施された満蒙開拓により、中国はるか満洲の地に渡った開拓団。日本の敗戦が色濃くなる中、突如としてソ連軍が満洲に侵攻した。守ってくれるはずの関東軍の姿もなく満蒙開拓団は過酷な状況に追い込まれ、集団自決を選択した開拓団もあれば、逃げ続けた末に息絶えた人も多かった。そんな中、岐阜県から渡った黒川開拓団の人々は生きて日本に帰るために、敵であるソ連軍に助けを求めた。しかしその見返りは、数えて18歳以上の女性たちによる接待だった。接待の意味すらわからないまま、女性たちは性の相手として差し出されたのだ。帰国後、女性たちを待っていたのは労いではなく、差別と偏見の目。口さがない誹謗中傷。同情から口を塞ぐ村の人々。込み上げる怒りと恐怖を抑え、身をひそめる女性たち。青春の時を過ごすはずだった行先は、多くの犠牲を出し今はどこにも存在しない国。身も心も傷を負った女性たちの声はかき消され、この事実は長年伏せられてきた。だが、黒川の女性たちは手を携えた。したこと、されたこと、みてきたこと。幾重にも重なる加害の事実と、犠牲の史実を封印させないために――。



自主上映会も募集中！

上映会を開いてみませんか？初めての方でも上映会を開催していただけるよう、サポートいたします。映画館での上映が終了した地域、また映画館での上映が行われない地域より自主上映会の受付を行います。ご興味ございましたら、事前に日程確認のご連絡を下記まで、お気軽にお問い合わせください。

…上映会お問合せ先…

映画『黒川の女たち』配給・太秦（うずまさ） E-mail: info@uzumasa-film.com / FAX: 03-6903-6970

【作品名・上映地域・上映予定日・上映会場・上映回数・会場の席数・有料もしくは無料上映・主催団体名】

上記をメールにてお教えくださいますと、確認がスムーズです。

◎上映料金◎ 基本上映料金一日 55,000 円（税込／100名まで）※1日に何回上映しても、1日目の基本上映料金は55,000 円（税込／鑑賞人数100名まで）

※入場料金のあり／なしに関わらず鑑賞人数が100名を越えた場合は101人目から入場者数×550 円が加算されます。※連日上映会を行う場合などはお問い合わせくださいませ。

◎上映用素材◎ DCP・ブルーレイ・DVD（バリアフリー字幕版もございます。）